

(仮称) 子ども・子育て支援複合施設の整備について

○全ての世代の子ども達と妊婦・子育て家庭を支援します！

子ども・子育て支援複合施設

柏市では『乳幼児から中高生・若者まで全ての世代の子ども達が成長に合わせて利用でき、妊婦・子育て家庭も利用できる総合的な施設』を開設します！「こども家庭庁」の設置に合わせ、「健康医療部」「こども部」「生涯学習部」による分野横断的な事業を実施、子どもの成長に合わせたサービスを一体的に利用することができます。



基本的な取り組み

- 年齢や学齢により1階～5階まで成長と共に利用ができます。
- 妊婦・子育て家庭が安心して相談し、過ごすことができます。
- 「ニーズの高いサービスを新設」・「既存の機能を集約」して、子育て支援サービスを充実・向上、つながる居場所機能を提供します。

○柏市における課題解決に向けた機能を整備します！

課題

- 子ども・子育て支援施設の分散化と面積の不足
- 「出産・子育て応援交付金」の創設にともなう伴走型支援の充実
- 「こどもの遊び場へのニーズ」「読書環境の充実」「新型コロナウイルスの影響」への対応
- 送迎保育ステーションへの保護者のニーズ、園探しの「3歳の壁」への対応
- 中高生を含む子ども・若者の居場所の設置

フロア毎の機能			
6F	・施設管理職員執務室 ・出張窓口(保育園, こどもルーム入園申請などを予定)		こども部
5F	・中高生世代の居場所事業 NEW! 想定利用人数 (年間: 約30,000人)	中学・高校生～若者	生涯学習部
4F	・こども図書スペース NEW! 想定利用人数 (年間: 約10,000人)	小学生	生涯学習部
3F	・送迎保育ステーション NEW! 定員72人 稼働日数約290日	未就学児	こども部
2F	・妊娠子育て相談センター 集約・拡充 (母子健康手帳交付・相談・伴走型支援) 想定利用人数 (年間: 約3,000人)	妊娠 出産 乳児	健康医療部
1F	・乳幼児一時預かり 集約 ・遊びの広場 拡充 想定利用人数 (平日: 100人) (休日: 150人)		こども部

○早期に課題を解決するためスピード感をもって施設を整備します！

施設整備方針

施設は新たに施設を整備するよりも、既存ビル(柏市柏4-58)のテナントとして入居する方が早期の実現が可能です。

整備にあたっては、以下の4つのコンセプトを重点に置くとともに、子ども達にとって魅力ある施設とするため、設計・整備を一元化した業務委託として発注し、民間事業者の創意工夫を活用します。



【旧 そごう柏店 アネックス館】

【施設のコンセプト】

- ① **安心・安全**：子どもの成長・発達段階や利用方法に応じてゾーニングされるよう安全性に配慮した空間構成とします。
- ② **開放感**：施設の吹き抜けを生かした開放感のあるデザインにより、心地よく過ごすことができ、リラックスしながら利用できる施設です。
- ③ **賑わい・交流**：交通アクセスが良い柏駅前に施設を整備することで、市内全域から利用され、柏駅周辺の賑わい創出に寄与することを期待するとともに、フロアを分離するのではなく、フロア間の流動性を持たせ、人と人を繋ぐ場所として展開します。
- ④ **シンボリック**：柏市の子ども・子育て支援のシンボルとして設置し、情報発信の拠点とするものです。他の子ども・子育て支援施設とも連携することで、ハブ的な役割を果たすことを目指します。

規模・設置運営経費

- 延床面積約 3,000㎡ (パレット柏: 約 2,300㎡)
- 令和5年度当初予算は、施設設置・事業の運営経費の一部で 403,725 千円です。

○令和5年度中に送迎保育ステーションを開設予定！他の機能も順次開設します！

		令和5年度												令和6年度			
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月
内装改修工事 (公募)	審査～契約																
	設計																
	工事																
条例 (※)	準備・制定																
駅前送迎保育ステーション	開設																
一時預かり遊びの広場 妊娠子育て相談C	開設																
その他の機能	開設																

※「柏市子ども・子育て支援複合施設条例」「送迎保育ステーション条例」の2つの条例を制定する予定です。
(注) スケジュールは現段階のものとなります。今後の協議等により、変更となる場合があります。